

# 第177回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年12月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,686	-0.66	-0.08	4,054	-0.02	-0.07
東部地区	14,390	-0.15	-0.12	5,720	1.20	-0.10
西部地区	10,679	-0.86	0.06	4,014	0.19	-0.04
駅南地区	6,262	-1.29	-0.11	2,663	-0.22	-0.14
半田地区	3,617	-0.27	-0.02	1,359	0.14	0.14
横山地区	5,674	-0.63	0.26	1,881	0.05	0.10
茨目・田尻地区	6,974	-0.39	0.17	2,349	0.34	0.12
荒浜地区	5,081	-0.70	-0.29	2,022	1.10	-0.34
その他地区	20,590	-1.64	-0.17	7,169	0.00	-0.11
西山町地区	6,251	-0.84	-0.19	2,127	-0.04	-0.04
高柳町地区	1,894	-3.02	-0.36	840	-1.06	-0.23
柏崎市計	91,098	-0.90	-0.07	34,198	0.26	-0.07
刈羽村	4,886	-0.56	-0.06	1,556	0.51	-0.06
小国地区（長岡市）	6,269	-2.33	0.03	2,119	-1.35	0.18
出雲崎町	5,119	-1.65	-0.01	1,808	-0.22	0.05
合計	107,372	-1.00	-0.06	39,681	0.16	-0.05

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で830人、0.90％、刈羽村で28人、0.56％、小国地区（長岡市）で150人、2.33％、出雲崎町で86人、1.65％とそれぞれ減少し、全体では1,094人、1.00％の減少となっている。また、前月比においては、小国地区で2人、0.03％と増加したものの、柏崎市で71人、0.07％、刈羽村で3人、0.06％、出雲崎町で1人、0.01％と減少したことから、全体では73人、0.06％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で29世帯、1.35％、出雲崎町で4世帯、0.22％と減少したが、柏崎市で92世帯、0.26％、刈羽村で8世帯、0.51％と増加したことから、全体では67世帯、0.16％の増加となった。また、前月比においては、小国地区で4世帯、0.18％、出雲崎町で1世帯、0.05％と増加したが、柏崎市で26世帯、0.07％、刈羽村で1世帯、0.06％と減少した結果、全体では22世帯、0.05％と減少している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,005		105.52		-5.00	
月間有効求職者	1,895		20.24		-7.60	
月間有効求人倍率	0.53	0.60	0.22*	0.25*	0.01*	0.01*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,005人と前年同月比で516人、105.52％の増加となったものの、前月比では53人、5.00％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,895人と前年同月比で319人、20.24％の増加となったが、前月比では156人、7.60％の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.53倍と前年同月比で0.22ポイント上回り、前月比でも0.01ポイント上回っている。なお、県平均0.60倍と比べると0.07ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が390人と前年同月比で19人、5.12％の増加、月間新規求職者数では495人と前年同月比で42人、9.27％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.79倍となり、前年同月の0.82倍に比べて0.03ポイント下回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年12月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	19	-3	1	207	-121
共 同 住 宅	0	-1	0	5	-4
事 務 所	0	-1	0	4	-4
作 業 所・工 場	0	0	-1	10	8
営 業 建 物	1	-1	0	11	-9
公 共 建 物	0	0	0	1	-1
そ の 他	1	-7	-2	68	-15
合 計	21	-13	-2	306	-146

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が21件と前年同月比で13件の減少、前月比でも2件の減少となっている。工種別における主な増減は、前年同月比ではその他で7件、一般住宅（併用）で3件の減少、前月比ではその他で2件の減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が13件、増築が7件、改築が1件となっている。また、一般住宅（併用）19件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が17件（うち新築11件、増築5件、改築1件）、市外施工業者が2件（うち新築1件、増築1件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,236	0.21	0.02	23,040	3.38	20.68
電 力	10,961	-2.25	1.35	39,799	3.35	2.55

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で141口、0.21%の増加、前月比でも16口、0.02%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で253口、2.25%の減少、前月比では147口、1.35%の増加となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で754kwh、3.38%の増加、前月比では3,949kwh、20.68%と大幅に増加している。一方、電力においても、前年同月比で1,293kwh、3.35%の増加、前月比でも993kwh、2.55%と増加している。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,324,335	0.50	32.00	667,391	-0.59	-3.52
営 業 用	238,064	-1.62	29.37	116,862	1.89	-5.27
工 場 用	701,150	8.30	4.03	141,407	-8.77	5.06
官 公 学 校 用	506,310	-2.77	33.54	74,082	1.06	-1.09
そ の 他				52	18.18	-60.60
合 計	2,769,859	1.54	23.63	999,794	-1.43	-2.43

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で42,039m<sup>3</sup>、1.54%の増加、前月比でも529,485m<sup>3</sup>、23.63%の大幅な増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用、工場用で増加、前月比ではすべての用途で大幅に増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で14,602m<sup>3</sup>、1.43%の減少、前月比でも24,952m<sup>3</sup>、2.43%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用、工場用で減少、前月比では工場用を除くすべての用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	86,729	6.91	-2.96	90,302	6.97	-2.92
西 山	37,766	-7.22	-8.03	34,258	-5.73	-9.71
米 山	16,259	-2.67	-17.65	15,511	-3.83	-14.04
合 計	140,754	1.60	-6.28	140,071	2.32	-6.00

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で2,217台、1.60%の増加となったものの、前月比では9,433台、6.28%と減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で3,186台、2.32%の増加、前月比では8,941台、6.00%の減少となった。

インター別で見ると、前年同月比では入口・出口ともに柏崎インターのみ増加、前月比では入口・出口ともにすべてのインターで減少となっている。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	360,111	-0.93	2.16	150,691	-1.21	1.27
平 残	356,251	-0.23	0.58	148,090	-1.14	0.36

預金は、末残が前年同月比で3,384百万円、0.93%の減少となったものの、前月比では7,640百万円、2.16%と増加している。また、平残においても、前年同月比で829百万円、0.23%の減少、前月比では2,058百万円、0.58%の増加となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,855百万円、1.21%の減少、前月比では1,898百万円、1.27%と増加している。また、平残においても、前年同月比で1,717百万円、1.14%の減少、前月比では534百万円、0.36%の増加となった。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	30,012	-4.81	-9.16
交 換 金 額	17,584	1.99	-31.87
不 渡 り 手 形 枚 数	4	-75.00	-89.74
不 渡 り 手 形 金 額	5	-76.64	-77.56

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,518枚、4.81%の減少、前月比でも3,028枚、9.16%と減少している。また、交換金額においては前年同月比で343百万円、1.99%の増加となったものの、前月比では8,229百万円、31.87%の大幅な減少となっている。なお、不渡手形は4枚、5百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産4件（前年同月4件、前月5件）、負債総額6億円（同12億円、同18億円）となっている。地区別では、下越地区で2件（新潟市2件）、中越地区で2件（長岡市1件、柏崎市1件）となり、上越地区では発生していない。業種別は、製造業1件、販売業1件、運輸・通信業2件となっており、倒産原因については、販売不振4件となっている。

当月の企業倒産は4件、負債総額で6億円と、前年同月比では件数で同数、負債総額では6億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、持ち直してきているものの、その動きに足踏みがみられるなど、厳しい状況が続いている。個人消費・物価は、持ち直してきているものの、弱い動きもみられる。雇用面も持ち直してきているが、引き続き厳しい状況となっている。また、企業収益・景況感は、改善の動きが弱まっている。